

家計調査報告（貯蓄・負債編）平成14年平均

平成12年まで家計調査の附帯調査として貯蓄動向調査を毎年12月現在で世帯の貯蓄及び負債現在高に関して調査していましたが、近年貯蓄の水準が高まり、貯蓄が収支に与える影響が大きくなってきたため、世帯の収支との関係を分析することを目的に平成14年1月より貯蓄・負債現在高についても家計調査の中で毎月調査を実施しています。

1 高知市の結果（二人以上の世帯）

高知市の調査結果は、二人以上の世帯89世帯について集計され、平均世帯人員3.13人、平均有業人員1.44人、世帯主の平均年齢52.8歳、持家率61.6％となっています。

(1) 平均貯蓄現在高は1534万円

平成14年平均における1世帯当たりの貯蓄現在高は1534万円となっています。

貯蓄の種類別にみると、定期性預貯金が830万円（貯蓄現在高に占める割合54.1％）と最も多く、次いで生命保険など372万円（同24.3％）、通貨性預貯金162万円（同10.6％）、有価証券150万円（同9.8％）、金融機関外19万円（同1.2％）となっています。

年間収入は614万円で、貯蓄年収比（貯蓄現在高の年間収入に対する比）は、249.8％となり、貯蓄現在高は年間収入の約2.5倍となっています。

表1 平均貯蓄現在高

	貯蓄現在高						年間収入 (万円)	貯蓄年収比 (%)
	(万円)	通貨性預貯金	定期性預貯金	生命保険等	有価証券	金融機関外		
高知市	1,534	162	830	372	150	19	614	249.8
全国平均	1,694	241	794	444	175	40	680	249.1

(2) 平均負債現在高は470万円

平成14年平均における1世帯当たりの負債現在高は470万円となっています。

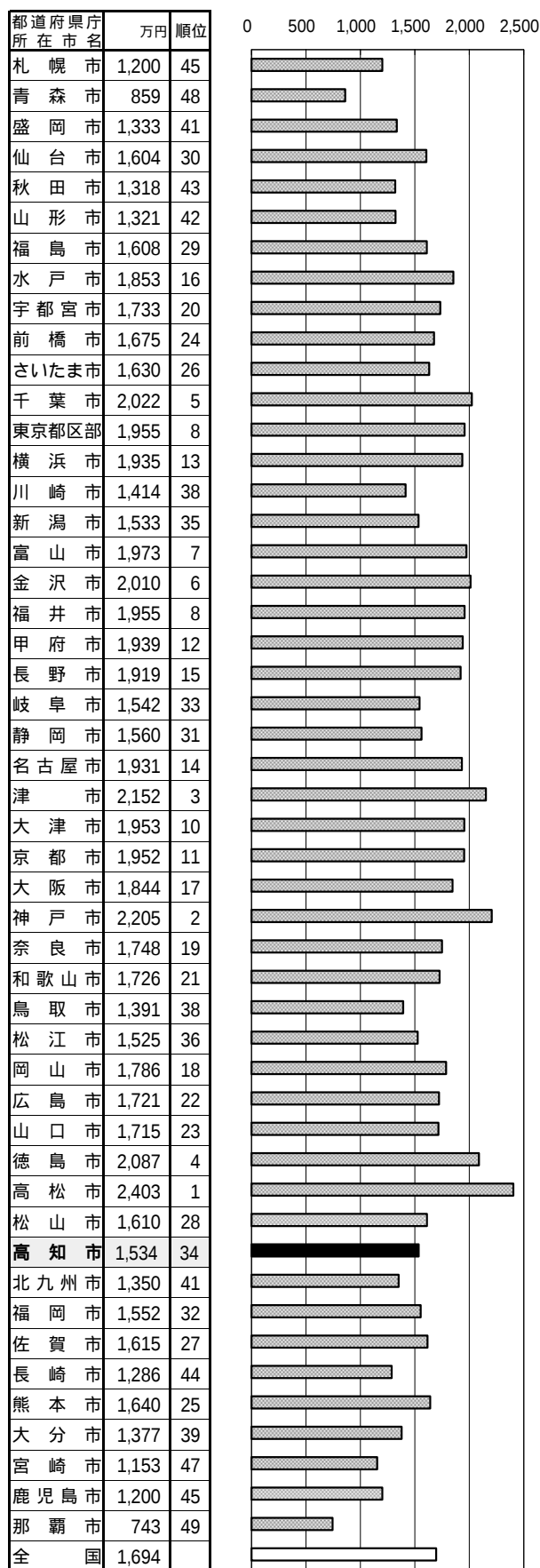
負債の種類別にみると、住宅・土地のための負債が297万円（負債現在高に占める割合63.2％）と最も多くなっていますが、全国平均と比べると大きく下回っています。

表2 平均負債現在高

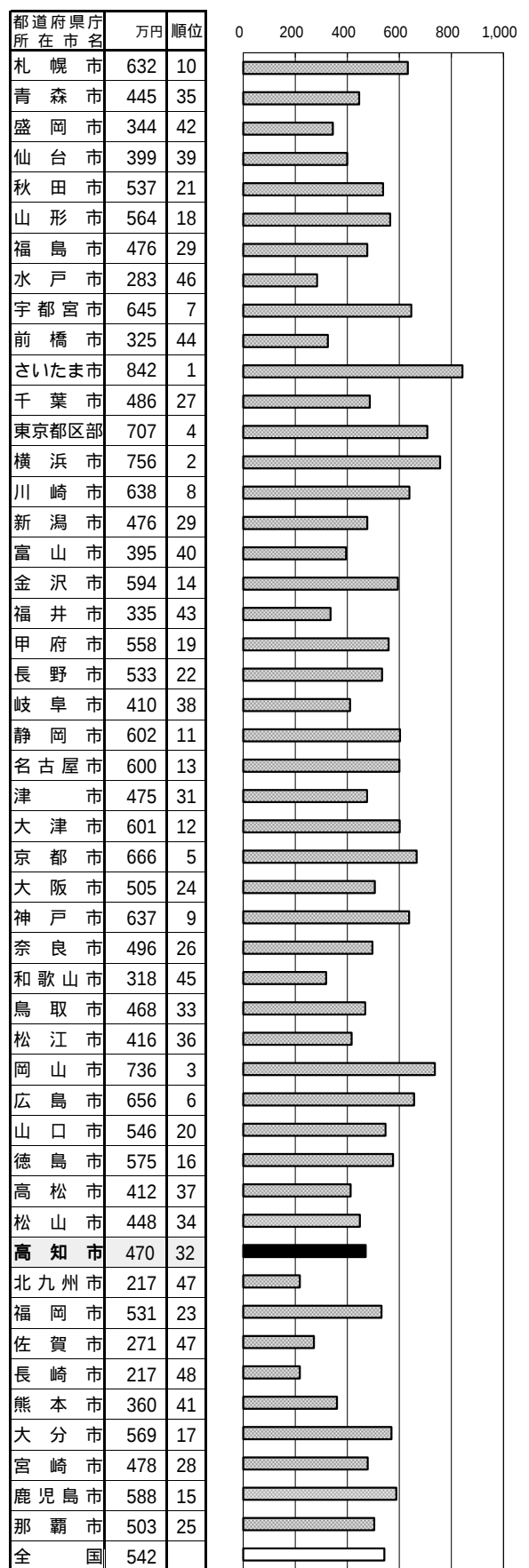
	負債現在高				負債現在高に占める住宅・土地の為の負債割合 (2)/(1) (%)	年間 収入 (3) (万円)	負債年収比	
	(1) (万円)	住宅・土地の為の	住宅・土地以外	月賦・年賦			負債現在高 (1)/(3) (%)	住宅・土地の為の 負債 (2)/(3) (%)
		負債 (2) (万円)	の負債 (万円)	(万円)				
高 知 市	470	297	160	13	63.2	614	76.5	48.4
全国平均	542	477	52	13	88.0	680	79.7	70.1

平成14年平均

貯蓄現在高（1世帯当たり）



負債現在高（1世帯当たり）



都道府県庁所在市(47区市)と北九州市・川崎市をあわせた49区市での順位